

MEIJIMURA

明治村だより Vol.80 2015 Summer

夜までたっぷり楽しめる
宵の明治村

期間 8月1日(土)、2日(日)、8日(土)、9日(日)、12日(水)~16日(日)、
22日(土)、23日(日)、29日(土)、30日(日) 計13日間

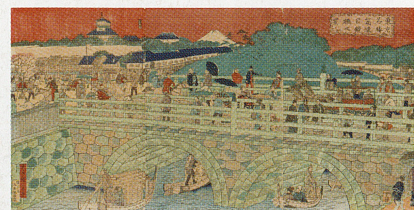
期間中 21時まで延長開村
※荒天時は延長開村中止の場合あり。

※浴衣姿の方は入村料金500円(男女供)



CONTENTS

- 明治村における二つの橋の保存修理工事…………… 2
- 博物館明治村の活動にご支援いただいた方々 …… 4
- 夏の催しもの…………… 5
- A La Meiji-mura…………… 6
- 語り継ぐ建築…………… 7



表紙錦絵／
東京名勝筋違目鏡橋之景
歌川広重画

平成27年6月29日発行
「明治村だより」第80号(平成27年夏)

発行 博物館明治村
〒484-0000 愛知県犬山市内山一番地
電話 (0568) 67-0314
<http://www.meijimura.com>

製作 大日本印刷株式会社

「明治村だより」第81号発行のお知らせ
発行時期 平成27年9月中旬(予定)
申込方法 「明治村だより」第81号ご希望の旨及びご住所・お名前を明記の上、送料140円切手とともに封書にてお申し込み下さい。



明治村における二つの橋の保存修理工事

博物館明治村には、六郷川鉄橋、天童眼鏡橋、隅田川新大橋の三件の橋梁が移築保存されています。ここでは、このうち昨年度に行いました天童眼鏡橋と隅田川新大橋の保存修理工事の概要と特徴についてご紹介したいと思います。

天童眼鏡橋の保存修理工事

天童眼鏡橋は、明治二〇（一八八七）年十月に山形県天童市天童の羽州街道（現在の国道十三号線、倉津川に架けられた二連の石造アーチ橋で、古くは多嘉橋とよばれていました。

橋に用いられている石材は、天童市付近で採掘された山寺石という凝灰岩系の石材であり、この石材の風合いが橋の外観を特徴づけています。（写真1）。

明治村には、昭和五十一（一九七六）年に移築されており、この際、基礎、橋台、壁石の下部を鉄筋コンクリート造に変更、折損した山寺石は新補の石材に、橋面には新たに花崗岩が敷かれ整備が行われました。

近年、創建から百年以上、移築から四十年近くを経



写真1 天童眼鏡橋修理前外観

てきた橋の石材、特に凝灰岩系の山寺石の劣化が問題とされており、手摺部分においては、地衣類や藻類などによる石材の侵食、凍結融解や塩類風化による石材表面の劣化が著しくみられました（写真



写真2 修理前の表面剥離



写真3 修理前の藻類固着類

通常の石材などに撥水強化剤を塗布する場合には、固着類、藻類や汚れをあらかじめ洗浄しなければなりません。しかし通常の洗浄作業、または高圧洗浄器等では、脆くなった山寺石の表面を圧力等で傷めてしまうおそれがありました。母材である山寺石に与える損傷は、可能な限り少なくする必要があります、そこで加圧超高温水洗浄という技術を採用いたしました。

加圧超高温水洗浄は、ボイラーの力により水を約二百二十度まで加圧します。この加圧された高温水は、噴射されると同時に急激な体積膨張を伴い水蒸気に変化します。この急激な体積膨張とその浸透圧の力によ



写真4 加圧超高温水洗浄風景

って洗浄を行うため、高圧洗浄や通常の温水洗浄よりも対象物に与える刺激を少なくすることが可能となるわけです（写真4）。

洗浄後は、特に手摺部分において、亀裂、剥落部分の補修を行ったうえで、石材全体に

強化材を含浸、散布いたしました。強化材による石材の強化は、石材が透湿性を失うことのないように細心の注意を払う必要があります。今回は、珪酸ナトリウムと珪酸カリウムを含む珪酸化合物を石材の含浸強化材として使用いたしました。これらの珪酸化合物は、細孔に針状の結晶を形成させ、あたかも蓮の葉が水滴を転がす原理で石材表面を撥水するものです。またこの針状結晶は、水を撥水しますが通気性をもつため、石材内部にたまる湿気を発散させることも可能となります。さらに、この針状結晶を強化するためにチタン

鎖体という化合物を塗布し、石材表面の強化を行いました。

これらの石材強化の作業と並行して、手摺部分には、ステンレス鋼棒を要所に埋め込み、手摺の構造を一体化させる補強を行いました（写真5）。



写真5 天童眼鏡橋修理後

隅田川新大橋の保存修理工事

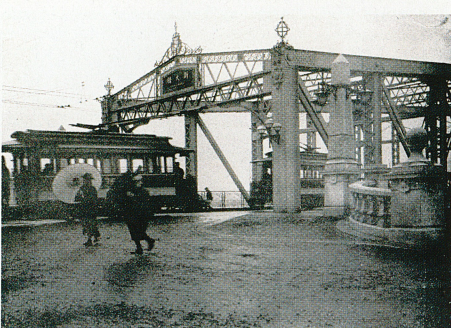


写真6 新大橋開通後絵葉書

全長一七三メートル、途中二箇所橋脚を立つ三径間のトラス橋です。橋梁部分のトラス形式は、ブラットピントラスという形式がとられ、車道にアスファルトブロック、歩道にモルタル敷のコンクリートパネルが採用されていることが最大の特徴です。橋の設計は、東京市の技師であった権島正義が中心となって行ったことが知られており、橋脚壁面に残されている銘盤に



写真7 隅田川新大橋修理前

は橋の建造に関連した技術者の名前が記されています。隅田川新大橋は、関東大震災時には、隅田川に浮かぶ船からの火の手により木板を使った周囲の橋が延焼する中、類焼に及ばなかったことから、「お助け

橋」とも呼ばれました。明治村には昭和五〇（一九七五）年に、浜町側からの約二十三メートルの部分、つまり一径間の十分の四程度が移築保存され、現在に至っています。

移築後四十年を経過した当橋は、近年、塗膜の劣化、鉄骨の錆化、歩道のモルタル床、照明器具等の破損、鉄筋コンクリート基礎のひび割れ等が確認されていました（写真7）。

このため橋梁及び橋脚部分の防錆処置と塗装の全面塗り直し、歩道のモルタル床の一部補修、基礎部分の洗浄と防水、照明器具の補修等を含む保存修理工事を実施いたしました。当橋は、移築後昭和五十七年、同六十三年にも塗装工事が行われていますが、今回の工事が移築後に行う初めての大規模な修理工事となりました。

修理前は、橋梁、手摺、照明器具など橋の主だった箇所が薄い灰色に塗装されていましたが、既存の塗膜の擦り出し調査により、橋梁部分から十層の塗膜、手摺部分から十八層の塗膜が確認されました。鉄骨造建造物の塗装工事における錆止め、下塗り、中塗り、上塗りの工程を考慮すると、橋梁部分は、移築時とその後修理の際における塗膜と判断できます。しかし手摺部分は、塗膜の数が明らかに多く、下層には現在と異なる緑を基調とした色の塗膜が残されています（写真8）。手摺部分は、意匠が凝らされており、既存の塗膜をケレンする作業には非常に手間がかかるため、結果としてより多くの塗膜が残

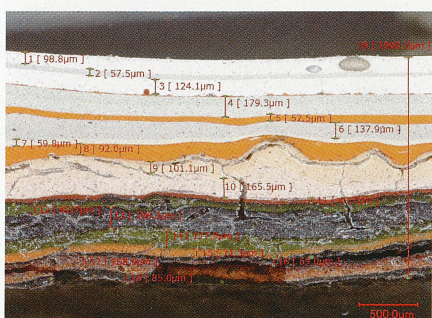


写真8 塗装の断面写真

り多くの塗膜が残



写真9 隅田川新大橋修理後

つたものと考えられます。

この発見された緑色の塗膜について、隅田川新大橋が竣工した当時の新聞史料、古写真などを調査した結果、明治四十五年七月の読売新聞第一二六四五号の記事から、柱梁

が「灰色」、手摺が「オリーブ色」と称された記述を確認することができました。手摺の塗膜の顕微鏡写真より、最下層にある上塗りと考えられる塗膜層が深い緑色であることから、竣工当初は、隅田川新大橋は橋梁部分が灰色、手摺が緑色を基調とする配色がとられていたことが判明しました。

上記の調査結果から、今回の修理工事において手摺部分の色調を創建当初の深緑色の色調に復原いたしました。また橋の両脇の石柱、正面鉄柱に備え付けられた照明器具について、塗膜のケレン作業から、腕木の金属部分が真鍮製であることがわかりました。真鍮製の腕木は橋梁母材の鉄骨部分との接合部において鉄骨材への電食劣化が懸念されたため、真鍮色塗料によりコーティングを行いました（写真9）。

二つの修理工事を経て

以上が、二つの修理工事の概要ですが、今回の修理工事は、天童眼鏡橋が平成二十六年九月から約二カ月間、隅田川新大橋が平成二十六年十月から翌平成二十七年二月までの約五カ月間と、比較的短期間の工

ぞぞぞっ!
暑さも忘れる?!
錦絵新聞の世界



怪奇現象、男女の恋のもつれから泣けるイイ話など、思わず見入ってしまう話題の決定的瞬間が描かれた錦絵新聞。本展示では、背筋が「ぞぞぞっ!」として、暑さも忘れてしまうような記事をご紹介します。

7月11日(土)～8月31日(月)
▶場所/千早赤阪小学校講堂
▶料金/一人100円
「赤ゲットの幽霊」参加者は無料

コラボ展

コラボメニュー
期間中



濃厚なストロベリーソースと爽やかなブラッドオレンジの酸味が相性抜群のかき氷。
●須磨子のショール…500円
〔食道楽のコロッケ〕と「小倉ドッグ」の店



オレンジの酸味にサククロの甘味がほのかに香る、ノンアルコールカクテル。
●赤の記憶…600円
(デンキブラン汐留バー)



辛味の効いたサルサソースと黒カレーが、暑い夏にぴったり!
●闇にまぎれて…1,000円
(明治の洋食屋 オムライス & グリル 浪漫亭)

開村50th 記念

夏“喜”氷
フェア

7月11日(土)～8月30日(日)



バナナアイスを含み込んだかき氷に、きざんだイチゴをトッピング!
●きざみいちごのかき氷…680円
(明治の洋食屋 オムライス & グリル 浪漫亭)



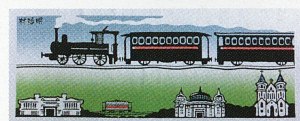
トッピングもシロップもプリン尽くし。女性にオススメ!
●食道楽のブデン氷…700円
(食道楽のカフェ)



たっぷりのフルーツをトッピングした50周年特別バージョンのかき氷。
●フルーツ白くま…850円
(デンキブラン汐留バー)

明治村オリジナルグッズ 新登場!

開村50周年を記念した明治村オリジナル商品が、春に引き続き登場!
運行再開記念SL手ぬぐい…760円
オリジナルマグネット…各450円



明治村COSPLAY with 世界コスプレサミット

1日限りのコスプレ大開放イベントを開催。世界コスプレサミット代表団によるミニステージも行ないます。

明治村開村50周年 & ANA名古屋-札幌線就航50周年

GoGo! コラボキャンペーン

「赤ゲットの幽霊」ペア参加者の中から抽選で、ANAで行く「札幌1泊2日旅行券(5組10名様)」をプレゼント!

▶期間/「赤ゲットの幽霊」開催日
▶受付/金沢監獄中央看守所・監屋

夏休み特別企画
子どもかがやきプラン
錦絵のオリジナル
うちわを作ろう!

夏休みの自由研究にぴったり! 多色摺り木版画で、明治村オリジナルのうちわ作りを体験!

▶開催日/8月の毎週土曜日 13:00～17:00
▶会場/三重県庁舎
▶料金/うちわ150円～

涼み処
風鈴広場

昨年大好評の巨大涼感スペースが今年も登場。約200個の瀬戸焼風鈴に耳を傾けて心も体もリラックス。

▶期間/8月末まで
▶会場/食道楽のカフェ横 芝生広場
▶協力/瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会

観光フェア

ミニ 来る福招き猫まつり

くろふく 929体の招き猫を展示。
▶期間/8月1日(土)～31日(月)
▶会場/千早赤阪小学校講堂
▶協力/瀬戸市まるっとミュージアム・観光協会
4日間限定!招き猫メイク体験
▶開催日/8月1日(土)、2日(日)、29日(土)、30日(日)
▶時間/各14:00～16:00
▶料金/無料

明治体感パートナー
「松山フェア」

▶期間/8月1日(土)～31日(月)
▶会場/三重県庁舎
▶協力/松山市

お問い合わせ先 <http://www.meijimura.com> または 0568-67-0314

明治村における二つの橋の保存修理工事



写真10 CARNEGIEの陽刻

期ではあるものの気を使う部分の多い工事でした。また、それぞれ工事を通して再発見できた部分も多かったように思います。

天童眼鏡橋は、今回の石材洗浄によって、この橋に使用されている山寺石が、長年の風雪に耐えた赤みがかった白色系の凝灰岩であり、所々に星のように赤や深緑色の安山岩系の岩塊が混じる実に素材で落ち着きのある石であることが改めて判りました。

一方、隅田川新大橋は、竣工当初の色調がわかったことが大きな再発見となりました。また、これまで鉄骨材はアメリカのカーネギー社からの輸入材によるものとして知られていましたが、今回の塗装修理におけるケレン作業において鉄骨材にカーネギー社の刻印を数箇所確認することができました。刻印は陽刻でアルファベットを浮き出しにするものであり、幾度にもわたる塗装工事の際に表面が削られたものと考えられ、今ではほとんどの刻印において文字部分が消えかかっておりました。今回の修理工事では、比較的に見やすい位置に確認された刻印を、クリアの塗装で残すこといたしました(写真10)。

装いを新たにしたい二つの橋、天童眼鏡橋は石材

が持つ落ち着いた味わい深い美しさを、隅田川新大橋は、鉄骨造の持つダイナミックな構造美とそこに加味された繊細な意匠美が見どころです。みなさまにも、二つの橋が持つ異なった魅力を感じていただけると幸いです。

博物館明治村の活動にご支援いただいた方々

高村 一弥	市川 祐嗣	加藤 祐聡	武藤 洋照	荻 祐司	小島美佐子	津田 昭治	藤原 明子	白石 秀勝	浅井 健	堀 いく子	渡邊 聡	大原 正宏	田村 和久	荒井たつよ	岡 晃	岡 道太	岡 紫乃	岡 潔	役重 文範	奥田 愛子	佐々木文子	山口 博史	野崎 佳香
瀬尾えみ子	奥田 愛子	三浦 嘉幸	吉田 歌子	田中 啓業	齊藤 嘉明	丹野 穎	行本恵美子	伊藤 由里	荻島 泰裕	三矢 伸吉	加藤 聡	秋田 幸哉	佐藤 光寛	渡部 直樹	佐藤 幸夫	宮崎 隆司	住吉 慶太	高野 啓子	坂井田 豊	江川 亨	岡崎美寿歩	森 啓成	足立 英雄
(順不同 敬称略)								加藤 洋介	ヤスタケポール	安藤 正人	有田 圭介	田村 節子	沢田 晋一	小居 和子	土居 峻	兒玉 律子	加藤 聡	蒲 理恵	蒲 千秋	立石 恭平	立石 春美	中井 卓治	薦田 愛

『長崎居留地二十五番館』保存修理工事 寄附募集要項

『長崎居留地二十五番館』は、長崎にあった居留地(東山手・南山手・大浦)のうち、明治22(1889)年に建設された南山手二十五番館です。

最初の居住者はスコットランド出身のホルダー(Calder, J.F.)で、日本初の「ドライドック」や長崎造船所で日本初の鋼鉄船「夕顔丸」を建造した明治期日本の造船業の発展に寄与した人物です。

博物館明治村では、昭和41(1966)年に移築された『長崎居留地二十五番館』を平成27年(2015)より保存修理工事を実施いたします。

寄附要項

- 事業名称 長崎居留地二十五番館 保存修理工事
- 受付期間 平成27年4月1日～平成28年2月末日まで(第1期)
- 寄附方法 1口 = 1万円(口数はご随意)

A La Meiji-mura

【十字架の上に息絶える】⑫
磔刑にあったイエスは十字架の上で息を引き取ります。図5の絵画では十字架の足元に頭蓋骨がひとつ置かれています。これはイエスがアダムから始まる人間の罪を背負って犠牲になったことを示すために描かれた

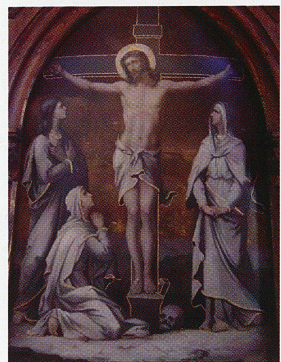


図5 聖ザビエル天主堂 第12留



図4 聖ザビエル天主堂 第6留



図3 大明寺聖パウロ教会堂 第6留



図2 大明寺聖パウロ教会堂 第1留

【死刑の宣告を受ける】①
図2の絵画には、死刑の宣告を受けたイエスが画面の中央に描かれ、その右側に手を洗う男性が描かれています。この男性は、ローマ総督のピラトという人物です。イエスに罪はないと思いつつも、ローマ市民に逆らえず死刑宣告をします。群衆の前で手を洗うという仕草は「この決定に対して自分は潔白であり、責任を負わない」ということを表しています。

【ヴェロニカより布を受取る】⑥
道の途中でヴェロニカという女性からヴェールを受取り、顔を拭いたという場面が描かれています。図3の絵画ではヴェロニカがひざまずきヴェールを渡す場面が、図4の絵画ではイエスが顔を拭いた場面がそれぞれ描かれています。この顔を拭いたヴェールにはイエスの顔が映りこんだと言われており、この伝説からヴェロニカは布商人、洗濯業者に加え、写真家の守護聖人とされています。

アダムの頭蓋骨です。また、イエスが磔刑にあった場所「ゴルゴダ」も頭蓋骨（しゃれこうべ）を意味していると言われています。

祈りを捧げる絵画

●聖ザビエル天主堂（5丁目51番地）

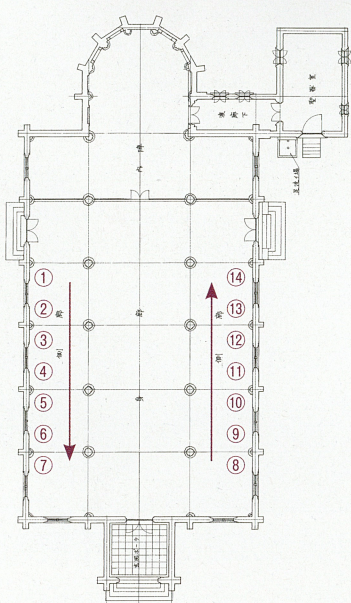


●大明寺聖パウロ教会堂（5丁目56番地）



明治村には教会建築が三件あります。そのうち五丁目には位置する「聖ザビエル天主堂」と「大明寺聖パウロ教会堂」の壁面に絵画が掛けられているのをご存知でしょうか。それぞれ十四点あり、これはイエスが死刑の宣告を受けてから、磔刑を受けた地・ゴルゴダの

丘（向かい、埋葬されるまでの様子を描いたもので、細かな描写こそ異なりますが、同じ内容が描かれています。「十字架の道行き」や「嘆きの道」とも呼ばれるこの絵画の題材は、中世後期にカトリック系のフランシスコ



- | | |
|----------------|-----------------|
| ① 死刑の宣告を受ける | ⑧ エルサレムの婦人らを慰める |
| ② 十字架を担わされる | ⑨ 三度倒れる |
| ③ 初めて倒れる | ⑩ 衣をはがされる |
| ④ 聖母マリアに会う | ⑪ 十字架に釘付けにされる |
| ⑤ シモンに助けられる | ⑫ 十字架の上に息絶える |
| ⑥ ヴェロニカより布を受取る | ⑬ 十字架より降ろされる |
| ⑦ 再び倒れる | ⑭ 墓に葬られる |

図1 教会堂内の「十字架の道行き」配置

会を発端として、イエスの足取りを辿りそのご利益に授かるうとする民衆信仰に由来します。実際の聖地を廻るかわりに絵画が掛けられ、教会堂に通う人々はこうした絵画から、イエスが人間に代わって受けた罰の重みを視

「見張っているぞ！」 監獄の見張所

●金沢監獄正門（5丁目52番地）



●金沢監獄中央看守所・監房（5丁目62番地）



五丁目には明治四〇（一九〇七）年に建設された金沢監獄の正門と中央看守所、監房の一部が移築されています。監獄とは明治時代に「監獄署」とも言った刑務所のことです。この金沢監獄の正門と中央看守所にそれぞれ見張所が設けられているのをご存知でしょうか？

人数で効率よく監視できるつくりになっています。移築前の金沢監獄を俯瞰した古写真（真し）を見ると、中央看守所を中心に五つの舎房が放射状にのびており、中央看守所に高い見張塔があることになって、監獄内を一望できるような配置になっていることが分かります。現在、中央看守所内で展示されている模型でもその様子をうかがうことができます。八角形の中央看守所の屋根上に四角形に作られた見張塔は四面全てにガラス窓がはめ込ま

れ、周囲を見渡すことができます。やや末広の形となっている見張塔のガラス窓は、両脇に台形の窓をはめ、中央は開閉できるように上ゲ下ゲ窓を配しています。ここへ上るには入口脇にある梯子状の階段を上り、屋根裏を通っていきます。見張塔の高さは地上十二メートルで現代の一般的なマンションの三階から四階ほどの高さになります。次に金沢監獄正門を見てください。赤レンガ造りに現地・北陸の軟石を使用した石材による白いラインが特徴的なこの門の両脇には、二階建ての門衛所が設けられています。出入り口は門衛所の内側にのみあり、窓から門衛所の内外を見ることができません。外に面する窓にはガラスとともに鉄格子がはめられており、厳しい雰囲気を感じられます。

図1 「監獄則並図式」の図

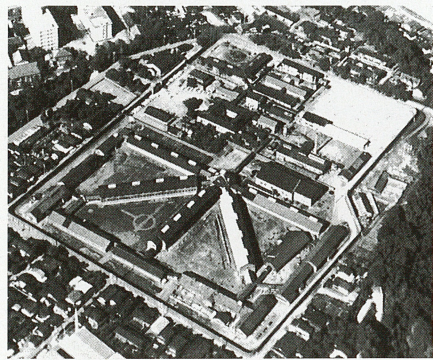
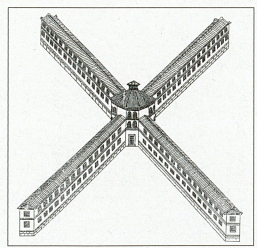


写真1 現地にあった当時の金沢監獄

ます。

こうした見張所に入っていたのはどんな人たちなのでしょう。明治二十二年（一八八九）年に全面改正された監獄則の解説書を見ると、監獄の見張り番である看守の職務について記されています。看守は最も囚人に近く、直に接する職であるため「常二囚人ノ龜鑑（行動の基準となる手本）タラシムルコトヲ務メシ」とした上で、舎房内を見る看守に関しては「堅牢ナラザルノ監房ト雖モ若シ頻々嚴重ニ之ヲ検査スルニ於テハ之ヲ破逸スルコト固トヨリ容易ナラサルベシ」と見張ることによって脱獄の計画などの非行を防ぐことができ、見張るといふ行為が建物の堅牢さ以上に大切であることを述べています。さらに門衛については「監門守衛ハ其職亦タ軽シト云フベカラズ」とした上で、ドイツでは中級や上級の看守が選ばれて門衛に就くという例を挙げ門衛を軽視する傾向を戒め、その重要性を記しています。

看守たちの常に「見張っているぞ」という視線が監獄内の囚人の暮らしを規律あるものにしてきたことでしょう。明治村にお越しの際は、高所に設置されている見張塔や門衛所にも是非注目してみてください。

参考文献
・日本監獄法講義 昭和五十一年、日本行刑史研究会
・重松一義「図鑑 日本の監獄史 昭和六〇年、雄山閣出版